

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371400959
事業所名	グループホームよこび

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入し、子ども110番も引き受けている。町内の清掃活動・地域の防災訓練にも参加している。近所の方からは野菜を頂くこともあり、調理に利用している。町内会長が地域とのパイプ役となり、災害時の地域の車いす利用者のリストにはホーム入居者も掲載されている。近所の団地集会所では年数回、介護と障害に関する相談会を開催している。	評価
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 町内会長・老人会役員・入居者家族・ホーム職員をメンバーとし、地域包括支援センター職員も参加して、偶数月に開催している。高齢者介護に関する地域包括支援センター主催の市民講座にはホームから講師を派遣している。参加した家族からは、認知症に関する講演会についての質問も出た。地域の防災ネットワークには、一員として加わり助け合っている。	評価
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4） 地域包括支援センター主催の市民講座に参画し、職員が講師を引き受け、介護・認知症の地域での啓発に尽力している。月に1度は市の介護指導課を訪れ、ホームの会議内容を報告し、指導を受けている。外部評価結果・目標達成計画も毎年提出している。	評価
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族会はないが運営推進会議には毎回家族が参加している。毎月の家族向けのホーム便り、担当者が個々の入居者の近況を記入し、家族に郵送している。名古屋市が実施するユーザー評価での家族の意見は、他者を介している分、生の声が反映され、ケアの上で役立っている。	評価
重点項目	その他軽減措置要件 「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価
総合評価		

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×					

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	（例示） 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	（例示） 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	（例示） 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。